

かんだエコだより

問い合わせ 環境保全課 ☎ 093・434・1834

荻田町 ごみの出し方

検索



荻田町では、ごみの減量化・資源化・リサイクルに取り組んでおり、毎月25日号でごみの正しい出し方を紹介しています。今回は「カン・ビン・ペットボトル」を分別するときの注意点についてお知らせします。

1. 「資源ごみ」とそうでないものをキチンと分別！

捨てればごみ、分ければ資源です。分別することで「リサイクル」がスタートします。

2. 「資源ごみ」の見分け方は？

ペットマーク・スチールマーク・アルミマークがついているものは、すべてリサイクルできます。「識別マーク」と呼ばれるこのマークを目印に分別しましょう。



3. 汚れたままではダメ！

「キャップやラベルは別にする」「洗って中の汚れを落とす」「(横に) つぶす」がポイントです。つぶすのはやわらかい素材のものなど、できる範囲でかまいませんが、縦ではなく横につぶしてください。

4. 危険物はいれないで！

危険物や異物が混入していると、リサイクルをする際、作業をする人にとって大変危険です。また、設備故障の原因にもなります。作業をする人の安全を考え、危険物や異物は一緒に出さないようにしましょう！



▲実際に混入されていた危険物や異物

キャップは外してください

これからの暑い時期はペットボトルの量が増えます。やわらかいものはできる限りつぶして、かさばらないようにしてください。また、キャップやラベルは必ず外して、「燃やせるごみ」で出してください。**お酒や栄養ドリンクなどのビンもキャップを外し**、キャップは「その他の燃やせないごみ」で出してください。付いたままのものは収集しません。

ペットボトルは横につぶしてください



処理に困っています…

梅干しやぬかの容器（陶器・プラ製等）、油の入ったペットボトル容器は「その他の燃やせないごみ」ですが、中身は必ず出してください。中身が残っていると、手作業で中身を出さないとはいけません（中身は新聞紙に染みこませるなどして「燃やせるごみ」へ）。なお、調味料の容器でビンのものは、水洗いをして「ビン」として出してください。

